



20th

KOBE UNIV.
SYMPHONY ORCHESTRA

第20回定期演奏会

昭和45年12月12日

西宮市民会館

神戸大学交響楽団

歌劇「魔笛」序曲 モーツァルト

指揮 小川博司

交響詩「禿山の一夜」 ムソルグスキー

指揮 金子芳樹

————— 休 憩 —————

交響曲 第五番 ショスタコーヴィッチ

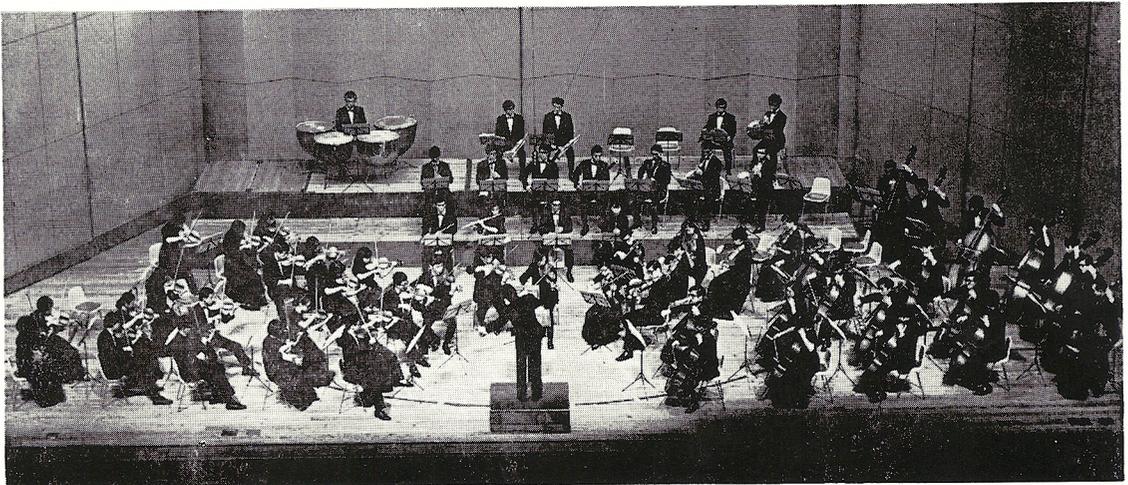
指揮 奥田伸悟

I Moderato—Allegro non troppo

II Allegretto—Scherzo

III Largo

IV Allegro non troppo



指揮者プロフィール



奥田 伸 悟

氏は在学中正指揮者として第17回定期演奏会でフランクの交響曲を指揮し好評を得た。

氏の音楽活動は幅広く、今年開かれた万国博のガラスの城館、ハリケーン館及び閉会式の音楽スタッフとして参加し、今年末に神戸で音楽個展を開催する予定である。作曲指揮を中元清純氏に師事。所属 企画制作「ミュージック・セリエル」

金子 芳 樹

高校時代にテニスをしていたとは夢にも思えないあの体格、圧倒するようなあの声、あの笑い。ベートーヴェン愛する彼は、すべてに大きなものが好きなのである。しかし、ラヴェル、ベルリオーズ、ドビッシューなどのフランスものにも心を寄せる彼は案外ロマンチストなのかもしれない。ふだんは丸い顔を恵比寿サマのごとくにニコニコさせている彼も、一たび指揮棒を持たれば、エンマ大王の子孫じゃないかと思うほどの顔を見せ、彼の音楽に対するきびしい一面をのぞかせる。そんな彼も、マーシャンはこのクラブにはめずらしくあまりやらないが、酒という声があれば指揮棒を投げだして飛んでくる。グラス片手にベートーヴェンを論じ、バームについて話す彼の顔はまことに幸せ一杯夢一杯である。



小 川 博 司

たとえ雲ひとつない日本晴れであっても、決して雨傘の用意を忘れない彼は、持ち前の注意深さを音楽への厳密さに発展させ、「金管、音程に注意！」の声は容赦なくメンバーに降り注ぐ。幼少の頃、ヴァイオリンを学んで以来、高校ではコーラス部に属し、現在の本職であるチェロにいたるまで音楽経験は豊かで、二年生ながら、その音楽性を買われて指揮者に抜擢された。現在発揮されているミクロな指導が彼に内包されているマクロな音楽把握とからみあい、ダイナミックに結びつくとき、我々は、彼と共に広大な音楽の世界に入ることができるだろう。そしてその日のくるのも遠くないようである。



兵庫県公安委員会指定

学校法人 兵庫県自動車学校

◇ 入学受付 毎日

◇ 入 学 日 毎週金曜日

神戸連絡事務所で すべての入学手続を
受付致します

● 神戸連絡事務所

神戸市加納町3丁目交差点東側
大和信用組合
TEL 神戸 (24) 3535(代)

● 西宮本校

阪急西宮北口駅下車西宮球場南
TEL 西宮 (67) 3761(代)

● 明石分校

県立運転免許明石試験場北隣
TEL (911) 6681~2

● 姫路分校

国道市川橋東300メートル
TEL 姫路 (23) 8118